

AOI TYO Holdings

2017年12月期 第3四半期

決算説明資料

2017年11月

AOI TYO Holdings株式会社

目次

1. 連結決算概要
2. 連結業績予想
3. トピックス
4. 会社概要

1. 連結決算概要

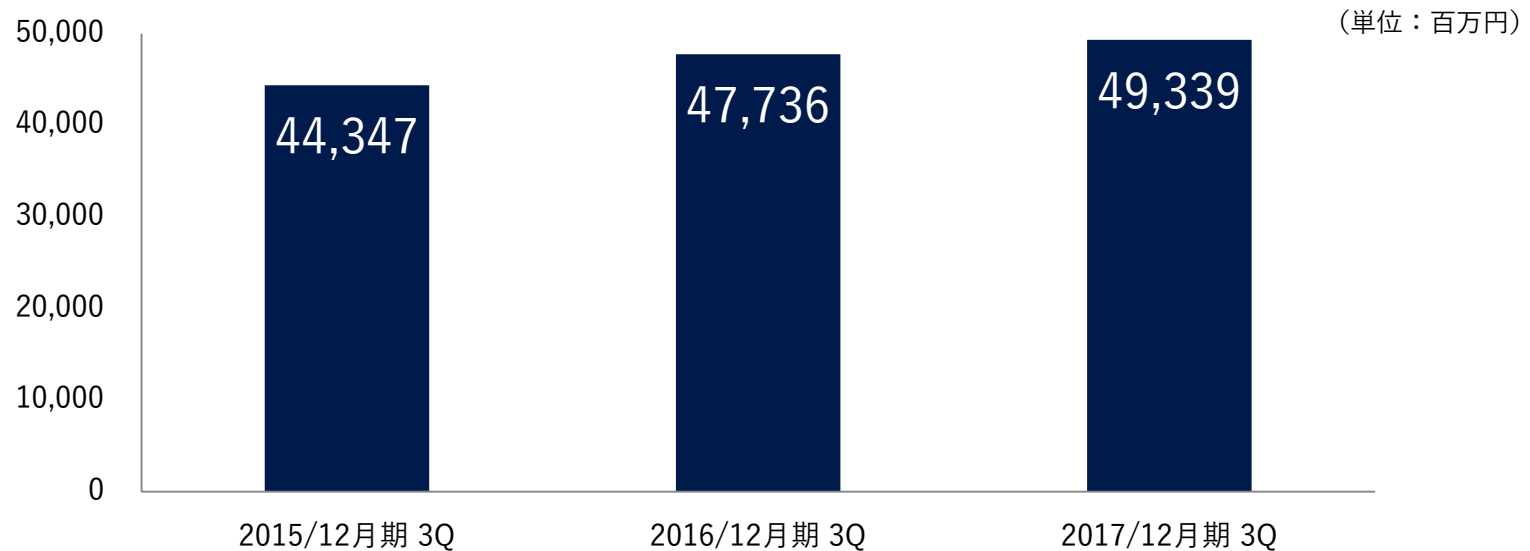
連結決算ハイライト

単位：百万円	2016年12月期 3Q実績	2017年12月期 3Q実績	前期比
売上高	47,736	49,339	+3.4%
営業利益	2,965	3,519	+18.7%
経常利益	2,597	3,372	+29.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,126	1,897	+68.5%
EBITDA	3,692	4,389	+18.9%

※前年実績値は、(株)AOI Pro.及び(株)ティー・ワイ・オーの暦年ベース（プロフォーマ、12月期末ベース）連結業績の単純合算数値を掲載

売上高の推移

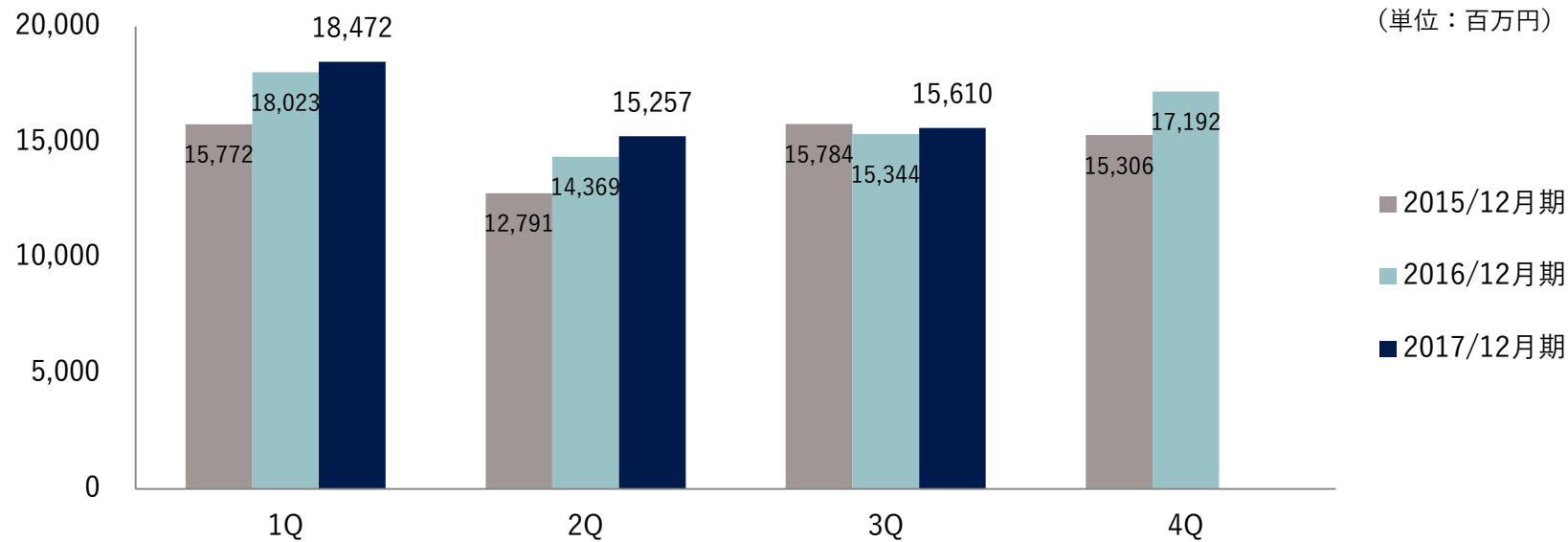
- TVCM等従来型メディアの広告制作市場が横ばいの中、売上高は堅調に推移



※ 2015年/2016年は、(株)AOI Pro.及び(株)ティー・ワイ・オーの暦年ベース（プロフォーマ、12月期末ベース）連結業績の単純合算数値を掲載

四半期別売上高推移

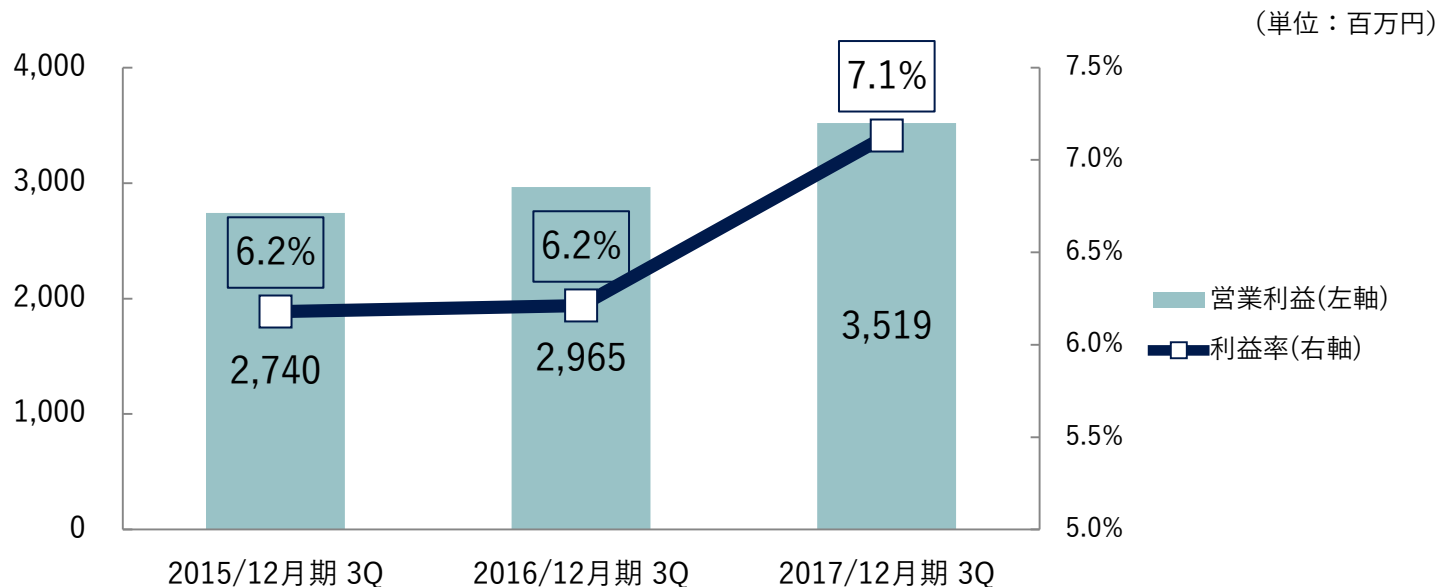
- 当3Qの受注高は52,415百万円、受注残高は17,322百万円と引き続き順調に推移する見込み



※ 2015年/2016年は、(株)AOI Pro.及び(株)ティー・ワイ・オーの暦年ベース（プロフォーマ、12月期末ベース）連結業績の単純合算数値を掲載

営業利益と営業利益率の推移

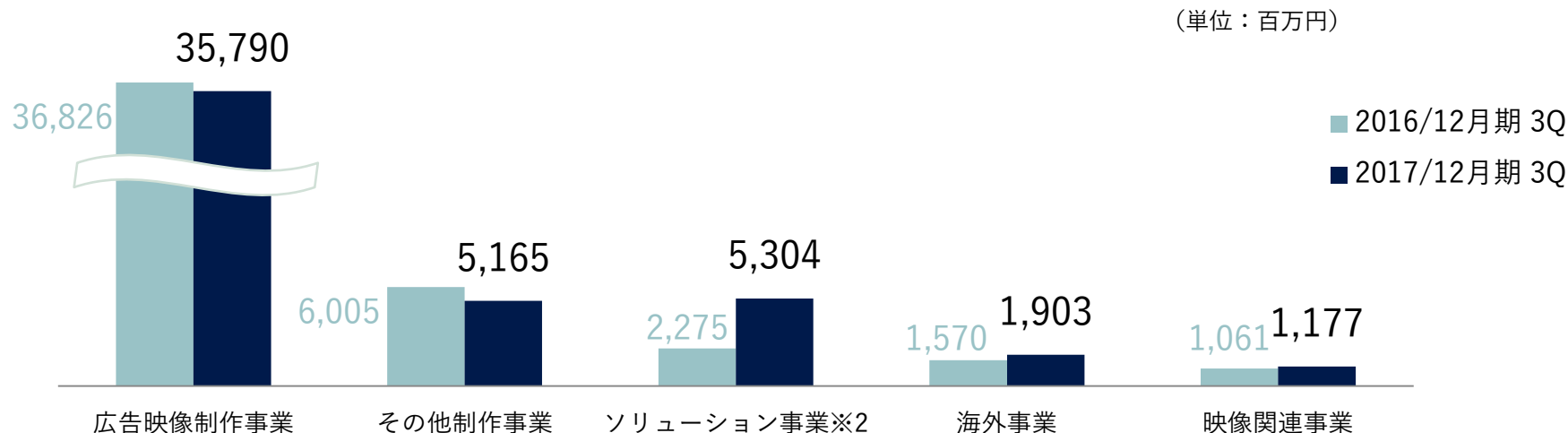
- 売上高の増加、案件受注段階からの厳格な精査・選別、収益管理の徹底が奏功し、前期比で利益率改善



※ 2015年/2016年は、(株)AOI Pro.及び(株)ティー・ワイ・オーの暦年ベース（プロフォーマ、12月期末ベース）連結業績の単純合算数値を掲載

事業区分※1別売上高

- 各事業が概ね堅調に推移した中、成長領域であるソリューション事業が前期比133.2%増と全体を牽引

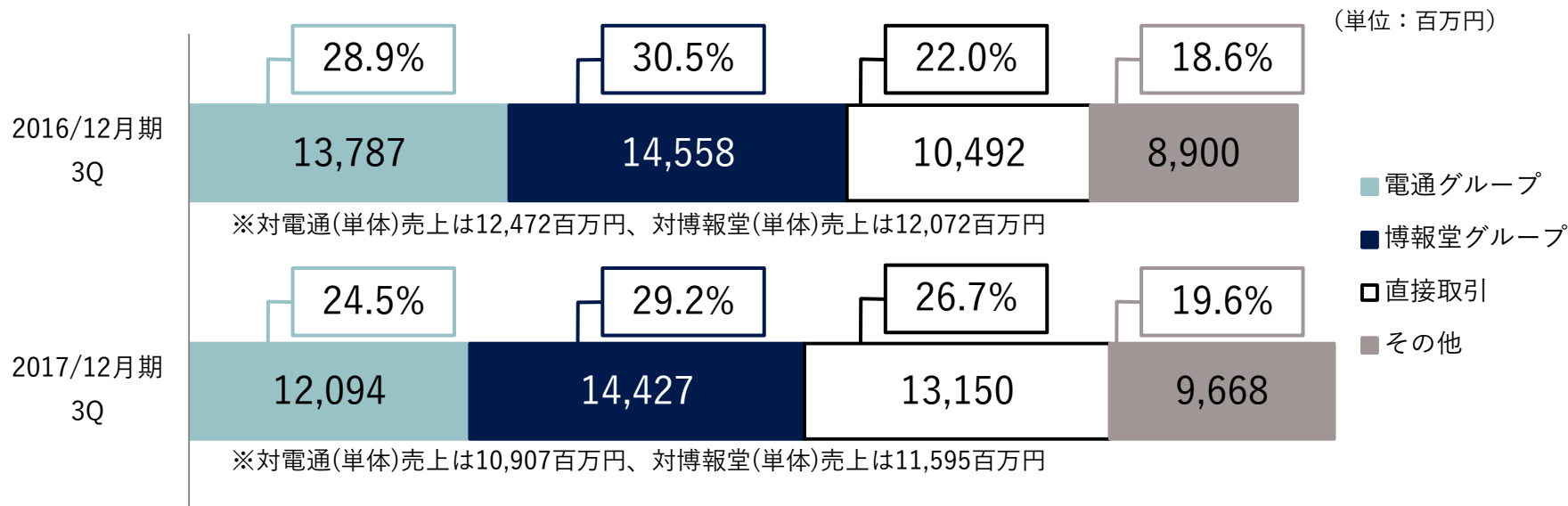


※1. 広告事業セグメント=広告映像制作事業、その他制作事業、ソリューション事業、海外事業 映像関連事業セグメント=映像関連事業

※2. ソリューション事業：顧客の問題解決のための施策を提供する事業（AOI Pro.体験設計部、TYO営業統括本部、Quark tokyoを合算）

顧客別売上高

- 国内広告業界の情勢を反映し、当社連結売上高の53.7%を電通グループ、博報堂グループが占める一方、広告主との直接取引が増加



※前年実績値は、(株)AOI Pro.及び(株)ティー・ワイ・オーの暦年ベース（プロフォーマ、12月期末ベース）連結業績の単純合算数値を掲載

連結貸借対照表サマリー

単位：百万円	2017年12月期 3Q	主な構成
流動資産	37,452	現金及び預金10,373百万円、受取手形及び売掛金19,588百万円、仕掛品6,339百万円
固定資産	17,616	有形固定資産8,083百万円、無形固定資産5,147百万円、投資その他の資産4,385百万円
資産合計	55,069	
流動負債	23,075	買掛金6,394百万円、短期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む）10,120百万円、前受金2,978百万円
固定負債	7,441	長期借入金2,134百万円、長期預り金3,501百万円
負債合計	30,517	
純資産合計 (総資産に対する比率)	24,551 (44.6%)	資本金5,000百万円、資本剰余金12,103百万円、利益剰余金6,924百万円
負債純資産合計	55,069	

2. 連結業績予想

連結業績予想

- 通期業績予想に対する当3Qまでの実績の進捗状況は順調

単位：百万円	2017年12月期 3Q実績	2017年12月期 通期予想	前期比	2017年12月期 4Q必要額	前期比
売上高	49,339	66,000	1,072	16,660	△532
営業利益	3,519	4,100	678	580	132
経常利益	3,372	3,800	837	427	61
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,897	1,850	755	△47	△16
EBITDA	4,389	5,234	-	-	-

単位：円 銭	第2四半期末	期末	合計	配当性向	DOE
配当予想	8.00	20.00	28.00	35.9%	2.9%

3. トピックス

経営統合の進捗

照明機材レンタル事業の統合

当社グループ会社の(株)メディア・ガーデンは、同じくグループ会社の(株)TYOテクニカルランチより照明機材レンタル部門「SOL」の事業を譲り受けることを決定した。

経営統合の目的の一つである、両社の主力事業である広告映像制作事業における合理化、効率化による収益力強化の一環として、AOIグループとTYOグループの双方にある照明機材レンタル事業を統合。

事業譲受日は平成30年1月1日（予定）。

《事業譲受会社の概要》



名称 : 株式会社メディア・ガーデン
 所在地 : 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目1番56号
 代表者 : 代表取締役社長 黒田 英彦
 事業内容 : TVCM、VTR、その他、撮影のためのレンタルスタジオ業務/
 照明機材のレンタル及び販売業務/
 撮影イクイップメントの開発、販売業務/
 映像コンテンツ制作業務
 資本金 : 4,000万円
 設立年月日 : 平成6年7月22日

《事業譲渡会社の概要》



名称 : 株式会社TYOテクニカルランチ
 所在地 : 東京都港区南麻布四丁目11番30号
 代表者 : 代表取締役社長 蛭原 潤
 事業内容 : 撮影・照明スタッフ及び撮影機材レンタル事業/
 照明機材レンタル事業/
 ポストプロダクション事業/映像制作事業
 資本金 : 8,000万円
 設立年月日 : 平成2年9月27日

事例紹介 – AOI Pro.

「VR ON AIR TEST(VR OAT)」開発プロジェクトが
 「OutSystems Innovation Awards 2017」日本企業初の受賞
 「Most Innovative App Award」部門 <Winner>

「OutSystems Innovation Awards」は、ポルトガルに本社を持つ OutSystems 社が主催する賞で、世界的な超高速開発基盤「OutSystems」を用いて先進的、生産的で重要なビジネス価値を創出し、ITに劇的なイノベーションを巻き起こした組織や団体の功績を2014年より顕彰している。

AOI Pro.が開発したVRをビジネス活用するサービスライン「VR Insight™」。そこから切り出した映像評価サービスである「VR OAT」は、超高速開発を実現しつつ、全く新しい発想でアプリケーションを作ったことが高く評価され、「Most Innovative App Award」カテゴリで受賞した。同賞での日本企業の受賞は、今回が初めてとなる。

OutSystems社 CEO Paulo Rosado氏 コメント

「OutSystems Innovation Awards」は、OutSystemsを使い、イノベティブで最先端のアプリケーションを構築した企業に与えられる賞です。ビジネスを加速するソリューション、および価値あるデジタルの未来を創出するパイオニアとして、AOI Pro.に「Most Innovative App Award」を授与いたしました。



授賞式で登壇したAOI Pro. 常務執行役員 額田康利(前列右から3人目)と、体験設計部部长 吉澤貴幸(前列右から2人目)

事例紹介 – TYO

ベンチャー企業向けファンド「Ad Hack Ventures」による 第1号案件 株式会社ログバーへの出資

TYOは、(株)フィールドマネージメントと共同で設立した「Ad Hack Ventures」の第1号案件として、本年10月に(株)ログバーに517百万円を出資した。

ログバーは、独自開発技術のSTREAM（瞬間翻訳技術。最速0.2秒の翻訳が可能）を駆使した、世界初のウェアラブル音声翻訳デバイス「ili」の開発・販売を手掛ける。「ili」は旅に特化した辞書を内蔵し、インターネットへ接続することなく旅先で瞬時に翻訳できるデバイス。海外渡航者やインバウンド市場のニーズを充足することにより、飛躍的な事業成長が見込めることから、今回の出資を実施。

今後、TYOは「Ad Hack Ventures」を通じた資金的な支援だけでなく、「ili」の認知促進を含めた広告・プロモーション活動全般を支援し、同時にフィールドマネージメントによる事業成長に向けたサポートを通じ、ログバーの企業価値向上を支援する。

《出資先企業の概要》

名称	: 株式会社ログバー
代表者	: 代表取締役 兼 CEO 吉田 卓郎
資本金	: 376百万円
事業内容	: ウェアラブルデバイス開発・企画・製造・販売事業
URL	: http://www.logbar.jp/
投資の概要	: 第三者割当増資



4. 会社概要

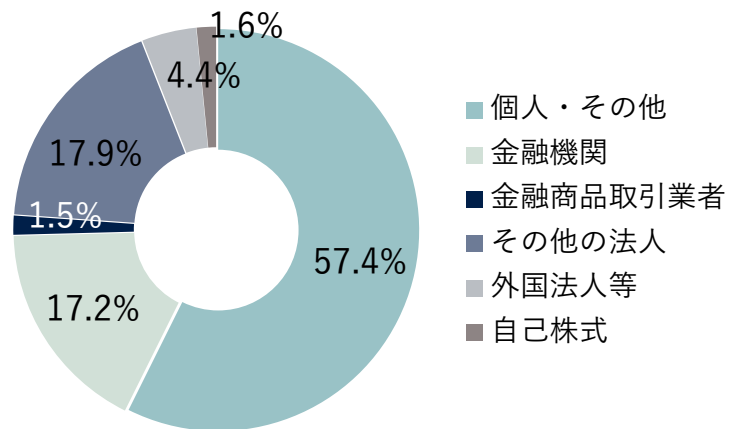
株式・株主の状況

※2017年6月30日現在

株式数・株主数

発行済株式総数	24,566,447株
株主総数	16,430名

所有者別株主構成



大株主の状況

	株主名	所有株数	持株比率
1	(株)コスモチャンネル	1,373,740	5.68%
2	日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	1,155,800	4.78%
3	(株)イマジカ・ロボットホールディングス	1,018,000	4.21%
4	フィールズ(株)	879,660	3.64%
5	吉田 博昭	555,425	2.30%
6	日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	441,900	1.83%
7	原 仁	400,000	1.65%
8	原 文子	328,000	1.36%
9	AOI TYO Holdings従業員持株会	321,738	1.33%
10	日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口5)	297,700	1.23%

※持株比率は自己株式(382,645株)を控除して計算しております。なお、当第3四半期会計期間に実施した自己株式の取得の結果、2017年9月30日現在の自己株式数は、637,087株となっております。

会社概要

会社名 (フリガナ)	AOI TYO Holdings株式会社 (アオイ ティーワイオー ホールディングス カブシキガイシャ)
代表者	代表取締役 吉田 博昭 代表取締役 中江 康人
設立	2017年1月4日
資本金	50億円
決算期	12月31日
本社所在地	108-0072 東京都港区白金1-27-6 白金高輪ステーションビル 7階 03-5475-7121 (代表)
証券コード	東証一部 / 3975
URL	http://aoityo.com/

免責事項

当資料には、当社の計画と見通しを反映した将来予想に関する記述を含んでおりません。

かかる将来予想に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否等、不確実な要因の影響を受けます。従いまして、実際の業績はこの資料に記載されている将来予想に関する記述とは大きく異なる場合があることをご承知おきください。

また当社は、この資料の開示後において、かかる将来予想に関する記述を更新して義務を負うものではありません。

ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。
財務・IR部（03-3779-8415）